

科目名	成人看護 I (成人看護概論・がん看護)				DP3 DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	21時間	担当 教員	坂口 博
科目 概要	成人看護の対象である青年期から壮年・中年期、向老期までの身体的、精神的、社会的特徴とそれぞれの発達課題や健康問題について理解し、健康状態に応じた患者の看護・障害を有する患者の看護・がんをかかえて生活する患者の看護、終末期にある患者と家族への看護について学ぶ。 また人口動態や主要死因別の死亡順位、年齢階級別主要死因順位などの統計的視点から、成人期の保健上の課題を明らかにする。						
到達 目標	1. 成人期にある対象の特性を理解できる。 2. 成人期における健康問題の特徴を知り、ニーズに応じた看護を理解できる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1~10	成人看護の対象の理解		ライフサイクルにおける成人期とは 発達段階と発達課題			講義 演習	坂口
	成人各期の発達課題とその 特徴		青年期・壮年期の発達課題と特徴				
	成人期の生活と健康障害		成人期の生活・健康の状況 成人期の生活における健康問題 成人保健対策 健康障害を持つ成人期の人の理解				
	成人看護の特徴と役割		様々な病気にある成人期の患者の看護 急性期・慢性期・終末期の患者の看護				
			救急・集中治療・手術を受ける患者の看護				
			がんとともに生きる患者の看護 人工臓器・臓器移植を受ける患者の看護				
			リハビリテーション期にある患者の看護				
		成人期の患者の家族の看護					
		チーム医療・多職種連携 チームにおける准看護師の役割					
11	試験		(1時間)			試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門8 成人看護 I 成人看護概論 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							